



## 2024年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス  
コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝田 康二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 宮田 圭一郎

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,874	8.0	199	6.4	179	5.8	169	25.0
2023年9月期第1四半期	3,589	0.6	212	19.0	190	15.8	135	

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 115百万円 ( 36.1%) 2023年9月期第1四半期 180百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	16.38	
2023年9月期第1四半期	13.10	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	21,737	4,236	19.3
2023年9月期	22,409	4,274	18.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 4,195百万円 2023年9月期 4,224百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		10.00		15.00	25.00
2024年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,357	3.4	416	31.9	357	36.0	208	49.3	20.16
通期	14,368	3.2	1,051	21.8	931	24.5	611	25.0	59.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	10,956,500 株	2023年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2024年9月期1Q	600,167 株	2023年9月期	600,167 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	10,356,333 株	2023年9月期1Q	10,356,333 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済の正常化に伴い景気の緩やかな持ち直しが見られる一方で、世界的な金融引き締め、物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の不確実性を含む地政学的リスクなどにより、引き続き不透明な状況が続いています。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,874百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は199百万円（前年同四半期比6.4%減）、経常利益は179百万円（前年同四半期比5.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は169百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、政府の2050年カーボンニュートラル宣言、エネルギー基本計画等、再生可能エネルギー導入に対する政府の支援姿勢は継続しており、今後も、国内再生可能エネルギー市場は、より一層拡大していく見通しです。当社グループは15ヶ所の太陽光発電所を運営しており、自社エンジニアが発電所の運営管理業務（O&M）を担当することで経費削減を図り、発電所の設置地域を全国各地に分散することで気候リスクの低減を図っています。発電量は一部地域にて出力制御の影響を受けていますが、安定的に稼働しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は501百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は195百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

#### ②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、大手通信事業者各社の経済圏を活かした顧客の囲い込みを狙いとする施策・料金プランを打ち出し、料金競争から経済圏競争へと変わりつつあります。また、お客様の携帯端末保有の長期化やSIMのみの契約の増加などにより利益率が減少しています。このような事業環境のなか、対面サービスを通じて地域のDX化を支える拠点と位置づけ、お客様満足度向上に向けた人材育成に注力するとともに、お客様の意向に合わせた料金プランの案内、スマートフォンの販売のほか、光回線、キャッシュレス決済促進など経済圏を活かしたライフスタイルのコンサルティングを行っています。併せてアドレス等のデータ移行や保護フィルム貼り等を有償で提供するなど、多様なサービスを提供しています。更には、外販専門部隊を増員・強化し、商業施設等への積極的な営業展開をし、回線数の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ17,509台（前年同四半期比6.3%増）、その内訳は、新規が5,848台（前年同四半期比21.3%増）、機種変更が11,661台（前年同四半期比0.1%増）となりました。上記施策により売上高は2,827百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は96百万円（前年同四半期比66.9%増）となりました。

#### ③保険代理店事業

保険代理店事業につきましては、生命保険における高額な死亡保険のニーズが低下する一方、医療保険などの第三分野商品の加入件数が堅調に推移し、現在の主力販売商品になっております。しかしながら、稼働人員減少の影響や短期的な収益でなく、中長期的に収益性が高い保険商品へ販売をシフトしていることから、現状の売上は低調に推移しております。今後は人材育成への注力はもちろんですが、中長期的な収益確保の為に品質・保全の強化にも邁進してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は110百万円（前年同四半期比57.4%減）、営業損失は32百万円（前年同四半期は53百万円の営業利益）となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、少子高齢化、世帯人数の減少、家族葬の増加による葬祭規模の縮小等、葬儀や供養のあり方自体が変化しております。前期より、多数のご参列をいただく一般葬の需要は回復傾向にあるものの、今後も業界全体として葬祭規模の二極化は進行していくものと捉えております。そのような環境のもと、地域密着型で効率的な運営を目的として、現在、愛知県の知多エリア及び西三河エリアで8会館を運営し、近隣店舗間の高い連携効率を実現しています。また専門知識と経験豊富な葬祭ディレクターによるお客様本位の対応、お客様のご要望に合わせたきめ細かな料金プラン設定により、葬儀施行単価の維持・向上に努めてまいりました。また、より効率的な業務運営を目的として委託業務の一部内製化を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は285百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は62百万円（前年同四半期比25.2%増）となりました。

引き続き、“葬儀”という非日常的な場面において、高い専門性とホスピタリティをもって多様化するお客様のニーズにお応えするとともに、各種営業施策の展開により会員増加に努めてまいります。

#### ⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、名古屋市千種区に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を運営、安定した賃料収入を計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は16百万円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

#### ⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、B to Bビジネスのプラットフォームとして、DX化の需要の高まりを背景に、携帯電話と光回線サービスを中心に法人のお客様の業務効率化、コスト削減に関するコンサル営業を展開しております。中部、関東地区のエリアを中心とした営業人員の増員と新規顧客を開拓し、売上規模の拡大に努めましたが、増員に伴う人件費増加等により営業利益は前年同四半期と比較して減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は134百万円（前年同四半期比134.0%増）、営業利益は5百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は21,737百万円となり、前連結会計年度末の資産合計22,409百万円と比べ671百万円減少しました。これは主に、商品が153百万円増加した一方で、現金及び預金が462百万円、有形固定資産が205百万円減少したことなどによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は17,501百万円となり、前連結会計年度末の負債合計18,134百万円と比べ632百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が172百万円、長期借入金が394百万円減少したことなどによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,236百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,274百万円と比べ38百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が14百万円増加した一方で、その他の包括利益累計額合計が42百万円減少したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に発表しました「2023年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,377,396	2,914,895
売掛金及び契約資産	1,457,115	1,417,705
商品	689,326	843,092
その他	331,379	308,611
貸倒引当金	△9,487	△9,337
流動資産合計	5,845,729	5,474,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,804,297	1,764,512
機械装置及び運搬具(純額)	8,063,665	7,878,729
土地	3,629,139	3,629,139
建設仮勘定	363	9,178
その他(純額)	25,044	35,591
有形固定資産合計	13,522,509	13,317,150
無形固定資産		
のれん	982,169	963,739
その他	379,795	370,259
無形固定資産合計	1,361,964	1,333,999
投資その他の資産	1,678,804	1,611,737
固定資産合計	16,563,278	16,262,887
資産合計	22,409,007	21,737,855
負債の部		
流動負債		
買掛金	885,792	958,922
短期借入金	3,220,000	3,220,000
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	1,464,528	1,465,462
未払法人税等	267,797	95,432
返金負債	162,112	145,582
賞与引当金	146,181	67,934
株主優待引当金	5,829	—
その他	653,393	797,282
流動負債合計	6,895,636	6,840,617
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	10,433,769	10,038,797
繰延税金負債	74,104	64,113
役員退職慰労引当金	193,656	—
退職給付に係る負債	163,543	167,558
資産除去債務	296,337	296,868
その他	32,072	48,823
固定負債合計	11,238,484	10,661,161
負債合計	18,134,120	17,501,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	3,035,781	3,050,109
自己株式	△768,713	△768,713
株主資本合計	3,699,405	3,713,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	511,752	488,271
繰延ヘッジ損益	13,008	△6,271
その他の包括利益累計額合計	524,761	481,999
新株予約権	15,655	16,548
非支配株主持分	35,064	23,794
純資産合計	4,274,886	4,236,077
負債純資産合計	22,409,007	21,737,855

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,589,587	3,874,969
売上原価	2,281,868	2,532,211
売上総利益	1,307,718	1,342,757
販売費及び一般管理費	1,094,917	1,143,602
営業利益	212,801	199,155
営業外収益		
受取配当金	16,306	17,482
その他	14,753	6,625
営業外収益合計	31,059	24,108
営業外費用		
支払利息	41,372	34,608
融資手数料	9,793	8,935
その他	2,346	363
営業外費用合計	53,512	43,906
経常利益	190,348	179,356
特別利益		
固定資産売却益	3,300	8,736
投資有価証券売却益	—	27,370
受取保険金	—	14,939
役員退職慰労引当金戻入額	—	59,310
特別利益合計	3,300	110,356
特別損失		
固定資産除却損	525	260
投資有価証券評価損	—	741
決算訂正関連費用	—	40,341
その他	—	845
特別損失合計	525	42,188
税金等調整前四半期純利益	193,124	247,525
法人税等	42,405	89,121
四半期純利益	150,719	158,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,009	△11,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,709	169,673

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	150,719	158,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,733	△23,480
繰延ヘッジ損益	△3,499	△19,280
その他の包括利益合計	30,234	△42,761
四半期包括利益	180,953	115,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,943	126,911
非支配株主に係る四半期包括利益	15,009	△11,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器販 売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	497,779	—	—	—	—
端末売上	—	1,198,232	—	—	—
附属品売上	—	416,671	—	—	—
手数料収入	—	872,504	146,845	—	—
支援金収入	—	809	113,305	—	—
葬儀売上	—	—	—	248,580	—
その他	120	—	—	20,792	5,236
顧客との契約から 生じる収益	497,899	2,488,217	260,150	269,373	5,236
その他の収益	—	—	—	—	11,367
外部顧客への売上高	497,899	2,488,217	260,150	269,373	16,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,330
計	497,899	2,488,217	260,150	269,373	18,933
セグメント利益	180,451	57,834	53,382	50,272	5,981

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	497,779	—	497,779
端末売上	36,894	1,235,126	—	1,235,126
附属品売上	6	416,677	—	416,677
手数料収入	20,441	1,039,791	—	1,039,791
支援金収入	—	114,114	—	114,114
葬儀売上	—	248,580	—	248,580
その他	—	26,149	—	26,149
顧客との契約から 生じる収益	57,342	3,578,220	—	3,578,220
その他の収益	—	11,367	—	11,367
外部顧客への売上高	57,342	3,589,587	—	3,589,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,330	△2,330	—
計	57,342	3,591,917	△2,330	3,589,587
セグメント利益	7,242	355,164	△142,363	212,801

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,363千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△147,207千円、その他の調整額4,844千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器販 売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	501,185	—	—	—	—
端末売上	—	1,506,331	—	—	—
附属品売上	—	416,239	—	—	—
手数料収入	—	904,309	73,689	—	—
支援金収入	—	581	37,032	—	—
葬儀売上	—	—	—	260,816	—
その他	120	—	—	24,227	5,142
顧客との契約から 生じる収益	501,305	2,827,461	110,721	285,044	5,142
その他の収益	—	—	—	—	11,107
外部顧客への売上高	501,305	2,827,461	110,721	285,044	16,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	450
計	501,305	2,827,461	110,721	285,044	16,699
セグメント利益又は 損失(△)	195,112	96,520	△32,046	62,942	5,434

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	501,185	—	501,185
端末売上	91,791	1,598,122	—	1,598,122
附属品売上	59	416,299	—	416,299
手数料収入	41,835	1,019,834	—	1,019,834
支援金収入	500	38,114	—	38,114
葬儀売上	—	260,816	—	260,816
その他	—	29,489	—	29,489
顧客との契約から 生じる収益	134,186	3,863,862	—	3,863,862
その他の収益	—	11,107	—	11,107
外部顧客への売上高	134,186	3,874,969	—	3,874,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	△450	—
計	134,186	3,875,419	△450	3,874,969
セグメント利益又は 損失(△)	5,565	333,528	△134,372	199,155

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,372千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△139,330千円、その他の調整額4,958千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。